



数年来、生徒の生活態度に落ち着きが見られ、学習活動や部活動に対し、真剣に取り組む姿勢が見られます。今年度の学校自己評価でもそのことが反映されているようで、全体的に高い評価をいただいています。

授業に対し肯定的評価が、生徒からは89%保護者からは94%と高い評価をいただきました。しかし、学年が上がるにつれ学習内容が難しくなり、授業の工夫が必要になってきます。本校では「わかる授業、楽しい授業づくり」を研修テーマに小集団活動やティームティーチング(TT)を行ってきました。生徒からは「誰かがしゃべっていたら、もう一人の先生がそこに行って静かにさせてくれる。」「一人の先生が、前で授業をしているときに、わからないことをもう一人の先生に聞いて、授業を止めずにすむことがいい。」「一人の先生では目が行き届かない所をもう一人つくことによって、教室全体を見てもらえるのでいい。」という意見があり、授業規律や学習理解・定着についてよい方向に向かっていると思われまます。

本校は、数年前から生徒同士が学びあい、コミュニケーションを培うために各授業において小集団(班・グループ)活動を取り組んできました。その結果、生徒同士の結びつきが深くなるとともに、学習の確認や定着、話し合い活動が様々な場で効果的にできるようになりました。生徒は積極的に学習に参加し、授業の目標に沿って活発に教え合ったり、意見を交換したりする様子が見られ、話し合い活動が各授業で定着しているように感じられます。

適切な評価に関しては肯定的評価が、生徒87%、保護者94%と高い評価をいただいています。本校は、年度当初に各教科の授業計画や内容の概略・評価の観点、および評価の方法をシラバスで生徒や保護者に明確にしています。また、三者懇談で、それぞれの教科担任から学級担任がコメントをもらい、生徒・保護者に伝えるようにしています。今後、全ての教科から、コメントや評価基準を出し、説明責任が果たせるようにしていきたいと思ひます。

進路指導に関する肯定的評価が生徒74%と昨年度より高いものの、「あまりあてはまらない」「あてはまらない」が26%あり、全体の評価としては低くなっています。昨年度から県立高校の前期試験制度の推薦制度が廃止され、自らの希望で受検できるようになり、多くの生徒が受検するようになりました。今年度、教師自らの評価からも「あまりあてはまらない」が25%という結果から、今後教師一人ひとりが、1年生から取り組むキャリア教育の視点を大切に3年間の計画的な進路指導を継続し、生徒自らが将来を見据えた進路選択ができるようにしていきたいと考えています。

最後に学力の定着と充実について全体的には、生徒・保護者から高い評価をいただいています。が、授業がわからなくなっている生徒や提出物が出せない生徒がいるのも事実です。「生徒一人ひとりが分かる授業」が展開できるよう、教材研究の時間を十分に確保するとともに、授業改善に役立てられるよう授業評価を確実にに行い、授業等について他の教員と情報交換したり、ICTを効果的に活用し、授業実践や教材を共有したりするよう努めたいと思ひます。今後、テスト(定期テスト・CRT・学力状況調査・その他のテスト)の分析から課題を見つけ、毎時間の学習活動の実践につなげられるよう見通しを持って取り組みたいと考えます。各教科においては、毎時間、授業開始時に復習の小テストや語句などの確認プリントによる繰り返し学習や、家庭学習の定着を図るために宿題の出し方等の工夫をしています。今後、さらに家庭と協力をしながら、家庭学習を充実させるようにしていきたいと思ひます。

## II 心の教育の推進

いじめ・差別を許さない仲間づくりの推進		⑥生徒…	先生は、いじめや暴力などの問題にきちんと対応してくれる。
①生徒	A 40% B 45% C 12% D 3%	③保護者…	学校は、いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる。
②保護者	A 28% B 61% C 10% D 1%	④教師…	いじめ・差別を見のがさない仲間づくりに努めている。
③教師	A 41% B 53% C 6% D 0%		
心を育む教育の充実		⑦生徒…	学校では、命の大切さや人権を大切にし、差別をなくすための学習が実施されている。
①生徒	A 48% B 42% C 8% D 2%	⑤保護者…	学校は、豊かな心を持ち、命の大切さや人権を大切に育てるようになっている。
②保護者	A 29% B 62% C 9% D 0%	⑤教師…	豊かな心を持ち、命の大切さや人権を大切に育てるために、道徳人権教育の推進に努力している。
③教師	A 23% B 71% C 0% D 6%		

本校では、教師が生徒との距離を近づけるため授業中はもとより、休憩時間も教室や廊下などで生徒とのふれあいや対話を心がけてきました。生徒と教師との関係がよくなることによって、日常会話が増え、授業でも積極的に発言・活動する生徒が増えるといったよい循環が生まれていると考えています。そのため担任は、教育相談だけでなく、一日一回以上は生徒と話しをするなど具体的な目標を持って生徒と関わっていきたいと思います。

本校では総合的な学習の時間で1年生外国人・障がい者の人権、2年生部落問題、3年生子ども・女性の人権と3年間を考えた人権学習を行っています。また、それぞれの行事や学習の中で道徳的価値を明かにして、教師が学校教育活動のあらゆる場面で人権を大切にすることを育ててきました。

いじめに関しては、大津市の事件が大きく報道され、マスコミをはじめ、保護者、地域の人たちにも強い関心を持たれるようになってきました。生徒の中には、何気ないしぐさや言葉づかいで嫌な思いをする者もいます。生徒同士のからかいがいじめに発展していくこともあります。また、携帯電話の普及により、気軽に自分の思いが伝えられるようになり、相手を傷つける言葉を簡単に送ってしまい、いじめに発展していくこともあります。本年度も、教育相談や生活ノートなどで悩みを教師に訴えた生徒がいましたが、該当生徒や周りの生徒の聞き取りなどの対応を素早く行い、学級や学年集会において全体の問題として考えることができたことにより、生徒に安心感を与えられたと思います。

心を育む教育の充実については、生徒・保護者・教師と共に90%以上の高い評価をいただいています。教師は道徳教育をはじめ、日常のあらゆる活動の中で、いじめを見抜く力を養っていかねばなりません。嫌な思いやつらい思いをする生徒が出ないように、生徒とともに生活し、ともに考えていききたいと思います。

### Ⅲ 健康・安全教育の徹底

<p style="text-align: center;">基本的な生活習慣</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生徒</td> <td>58%</td> <td>30%</td> <td>9%</td> <td>3%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>27%</td> <td>66%</td> <td>6%</td> <td>1%</td> </tr> <tr> <td>教師</td> <td>29%</td> <td>71%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>	対象	A	B	C	D	生徒	58%	30%	9%	3%	保護者	27%	66%	6%	1%	教師	29%	71%	0%	0%	③生徒…	学校へは、毎日楽しくきている。
対象	A	B	C	D																		
生徒	58%	30%	9%	3%																		
保護者	27%	66%	6%	1%																		
教師	29%	71%	0%	0%																		
	⑩保護者…	学校の教育活動は、全体的に見て満足できる状態である。																				
	⑩教師…	学校教育目標、ビジョンは生徒たちの実態から見て適切で、教育活動はその実現に向けてしっかりと取り組まれている。																				
<p style="text-align: center;">社会性を身につける</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生徒</td> <td>47%</td> <td>43%</td> <td>8%</td> <td>2%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>42%</td> <td>52%</td> <td>6%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>教師</td> <td>59%</td> <td>41%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>	対象	A	B	C	D	生徒	47%	43%	8%	2%	保護者	42%	52%	6%	0%	教師	59%	41%	0%	0%	⑩生徒…	あなたは、大きな声で挨拶をし、コミュニケーションを大切に、学校生活を送っている。
対象	A	B	C	D																		
生徒	47%	43%	8%	2%																		
保護者	42%	52%	6%	0%																		
教師	59%	41%	0%	0%																		
	⑥保護者…	学校は、挨拶に心がけ、子どもとのふれあいを大切に、子どもが明るく楽しい学校生活を送れるようにしている。																				
	⑥教師…	挨拶を心がけ、生徒とのふれあいを大切に、生徒の心に寄り添い、生徒が明るく楽しい学校生活を送れるように努力している。																				
<p style="text-align: center;">部活動</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生徒</td> <td>61%</td> <td>26%</td> <td>9%</td> <td>4%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>36%</td> <td>53%</td> <td>9%</td> <td>2%</td> </tr> <tr> <td>教師</td> <td>41%</td> <td>53%</td> <td>26%</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>	対象	A	B	C	D	生徒	61%	26%	9%	4%	保護者	36%	53%	9%	2%	教師	41%	53%	26%	0%	⑪生徒…	あなたは、部活動にまじめに参加し、目標を持って活動している。
対象	A	B	C	D																		
生徒	61%	26%	9%	4%																		
保護者	36%	53%	9%	2%																		
教師	41%	53%	26%	0%																		
	⑦保護者…	学校は、部活動で適切な指導を行い、明るく楽しい雰囲気づくりに取り組んでいる。																				
	⑦教師…	部活動で適切な指導を行い、明るく楽しい中にも、厳しさのあるクラブづくりに努めている。																				

生徒が安心して学習できる環境をつくっていくことが、学校において重要になってきます。そのことから見れば、毎日楽しく学校へ来ている生徒が87%いるということはうれしいことです。しかし、13%の生徒は何らかの不安を感じています。学校として全ての生徒が、健康で安全に生活することが願いです。不登校の生徒も昨年に比べれば減少してきていますが、全ての生徒が、毎日楽しく学校生活を送ることを目指すための努力の必要性を感じています。そのためには、不登校生徒一人ひとりの要因や状況をつかむため、家庭訪問等により保護者ととともに生徒に寄り添った対応を心がけ、「ふれあい教室」や「北勢児童相談所」などの外部機関との連携により、一人ひとりの生活習慣を確立し、進路を保障したいと考えています。

生徒、教師、保護者の人間関係をつくっていくには、まず挨拶ができる環境をつくっていかねばなりません。PTAでの挨拶運動を始め、生徒会でも挨拶運動をおこなっており、その評価は生徒90%、保護者94%、教師100%とたいへん高くなっています。今後生徒一人ひとりが自主的に挨拶できるようになっていくと、地域とのつながりも深まり、より理想的な教育活動が行われると考えます。

部活動においては、生徒87%、保護者89%の高い評価をいただいています。しかし、休みがちな生徒や2学期以降の転部を希望する生徒もいる現状から、13%の生徒の意欲の向上と意識改革を目指し、取り組むことが必要と思われる。世間で騒がれている体罰の問題や、部活動内での人間関係づくりなど、さらなる指導力向上に努めていきたいと思えます。そのためには部活動を一層活発にするとともに3年間継続して活動できる環境づくりを工夫する必要があると考えています。

#### IV 地域・家庭・保護者との信頼関係の確立

情報の発信		⑫生徒…	あなたは、「南風」や「学年通信」等を家の人にきちんと渡している。
⑪生徒	A 90% B 26% C 15% D 9%	⑧保護者…	学校は、保護者の相談・思いや願いに適切に誠実に対応し、学校の様子を保護者に「通信南風」等でよく伝えている。
⑩保護者	A 35% B 57% C 8% D 0%	⑧教師…	保護者の相談や思いあるいは願いに適切で誠実に対応し、学校の様子を保護者に「たより」や家庭訪問で連絡している。
⑨教師	A 29% B 59% C 12% D 0%	⑨保護者…	「フリー参観や行事」を通し、地域に学校を開き、保護者等の人たちが学校へ来やすくしている。
開かれた学校づくりの推進		⑨教師…	「地域に開かれた学校づくり」を目指し、地域や保護者の人たちとの連携を大切にしている。
⑩保護者	A 35% B 57% C 5% D 0%		
⑨教師	A 12% B 59% C 29% D 0%		

過去3年間を通して通信を家庭に定期的に渡していない生徒が約25%あります。この数字がさらに低くなるように、学校・保護者の両者で取り組む必要があると感じています。しかし、保護者については92%と高い評価をいただいています。これは学校ホームページで学校の様子や通信を知らせていることにもつながっていると考えられます。また、学期毎にフリー参観を実施して、保護者や地域の方々に生徒の様子や学校の環境を見ていただく機会を増やしてきました。保護者からは、授業参観と違い、授業中の生徒の様子だけでなく休憩中や清掃時の様子や他の学年の様子なども見ることができるため好評をいただいております。また、学校づくり協力者会議の委員、民生児童委員、主任児童委員、保護司など地域の方々や幼稚園、小学校の先生方にも来ていただいております。

信頼のある学校づくりは、生徒や保護者はもとより地域との協働も大切です。教職員が生徒一人ひとりを理解し、保護者との信頼関係を構築しながら、地域の各行事に参加することにより、地域の皆様とつながりを強くし、地域とともに生徒の健やかな成長を支援していく必要があると考えています。引き続き一層のご理解とご協力をお願いします。

### 松田先生が復帰されます

病気療養のため1月末より休みをいただいておりますが、家庭科の松田先生が、来週25日(月)から元気に復帰勤務する運びになりました。生徒の皆さんや保護者の皆様には、大変ご心配並びにご迷惑をお掛けしておりましたが、無事手術も成功し勤務のためのリハビリテーションに励んで、この度通常勤務に復帰できるようになりました。この間、生徒の皆さんには、教科担当を一部交代し、急場をしのいで迷惑をお掛けしましたが、25日より平常の担当教科に戻ります。生徒の皆さんは、どのクラスも先生が代わってもいつもと変わらず真剣に取り組む姿が見られ、今の南中のすばらしさを感じることができました。

### 学年末テスト迫る！最後の粘りを

ご承知の通り1、2年生は、来週25日(月)～27日(水)に、今年度最終の学年末テストが実施されます。このテストは、1年間のまとめのテストになりますから、これまでになく範囲も広く家庭学習も、何処をどうやって良いか定まらず、大変困っている人もいることと思います。しかし、1年間の総復習をこの時期に取り組むことで、これまでの学習の成果を確認できる良いチャンスでもあります。何事もそうですが、いつも気持ちを前向きに持ちながら取り組むことが、人間にとってとても大切なことだと思います。テストまで、残り少ない時間になってきましたが、テスト前最後の土・日曜日もありますから、最後の粘りをここで発揮して、1年最後のテストに悔いが残らないよう、成就感・達成感のある努力を試みましょう。